

平成22年度県立常北高等学校自己評価表

目指す学校像	創立以来47年の歴史と伝統に基づき、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。					
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況			
〈成果〉 ・学習指導の面では、少人数習熟度別授業等でのきめ細かい指導を通して、学習意欲の向上が図れた。 ・生徒指導の面では、校内外巡視の実施により、生徒指導事故が減少した。全体として落ち着いた学校生活が送れている。 ・進路指導の面では、景気停滞の中で、進路決定率93%であった。 〈課題〉 ・学習指導では高校生基礎学力向上サポートプランを活用し、さらに生徒の理解度や達成感を高める。 ・1年生の1学期部活動加入により、部活動の活性化を図る。自転車・バイクの乗り方や公共マナーを指導する。 ・インターシップ全員実施を行い、早期の進路意識を涵養する。 ・学習・特別活動・部活動等あらゆる面で生徒の積極性を伸ばす工夫が必要である。	1	学力の向上	① 綿密な教材研究を行い、積極的に公開授業をするなどして、よりよい授業にする。 ② シラバスを活用して、学習意欲の喚起を図り、計画的・継続的な学習をさせる。 ③ 高校生基礎学力向上サポートプランに基づき、基礎学力を定着させる。	B		
	2	基本的な生活習慣の確立	④ 頭髪・服装指導や遅刻防止の指導を徹底して、基本的な生活習慣を確立させる。 ⑤ 登下校時や授業開始・終了時、校内での挨拶を徹底させる。 ⑥ 年3回の計画的な面談や家庭訪問、スクールカウンセラーとの連携等を通して生徒理解に努める。	B		
	3	希望する進路の実現	⑦ 3年間を見通した計画的な進路指導を実践する。 ⑧ キャンパス・職場見学、インターシップ等により進路意識を高揚させる。 ⑨ 資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現をさせる。	B		
	4	特別活動及び部活動の活性化と豊かな人間性の涵養	⑩ 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、生徒の積極性を引き出す。 ⑪ 生徒の部活動等への積極的な参加を促して、望ましい人間関係づくりと充実した放課後になるようにさせる。 ⑫ 自他の生命を尊重し、他人を思いやる心を育て、豊かな人間性を育てる。	B		
	5	地域から信頼される学校づくりの推進	⑬ ホームページや広報紙等を充実して、保護者・地域に対し、積極的に情報を提供する。 ⑭ 学校評議員や地元中学校等の意見を取り入れ、地域と連携した教育活動を展開する。 ⑮ 計画的に公開授業を実施して、本校に対する地域の理解を図る。	B		
評価項目	具体的目標	具体的方策		評価	次年度への主な課題	
教科指導	基礎学力の向上と学習意欲の喚起	綿密な教材研究や少人数編成授業、シラバスの活用等により、わかりやすい授業を展開することで生徒の学習意欲を喚起する。 ①②③		B	B	・家庭学習の充実
	基礎的な国語力の習得	基礎的な漢字・語彙力を反復練習し身に付け、自分のものとして応用できる力を育成する。 ①②③		B	B	
国語	読書習慣の習得	読書する楽しみを身に付け、自らの読書体験を豊かにし、様々なものの見方、感じ方を知り豊かな人生を歩める基礎を育成する。 ①③		B		・個に応じた指導により、進路の実現につながる学力の定着を図ることが必要。
	作文の基礎的な表記の習得	基礎的な文章表現の知識を学び、自分の考えや意見を正しく表現できる力を育成する。 ①③		B		

地歴・公民	地理・歴史についての基礎的事項の理解の徹底	地図帳を地歴、公民のどの授業でも携行させて世界や日本の地理に親しませ、歴史や現代社会の基礎的事項の理解を深め定着をはかる。①③	B	B	・より興味・関心を喚起するような題材の選択や個に応じた指導により、基礎基本の学力の定着を図ることが必要。
	現代社会の諸問題への興味・関心の喚起・解決についての考察	現代社会の基礎的な事項を学ぶとともに新聞を読んだり時事的問題についてのビデオ等を視聴したりすることで現代の諸問題への関心を持たせ、意見・感想等を書くことで、主体的な解決の方法について考えさせる。①②③	B		
数学	基礎計算力の定着	基礎計算問題を繰り返し行わせ、計算力の定着を図る。③	B	B	・四則演算等、最低限の計算力の定着を図ることが必要。
	数学への興味関心の喚起	身の回りの数学的な話題などを交えた授業展開を行い、数学を身近に感じ、興味関心を持たせる。①②	B		
理科	観察・実験の充実	各科目ともに、適宜、観察・実験を行い、基本的操作を身に付けさせる。また、実験の事前・事後指導の時間を確保し、内容の定着を図る。①	B	B	・生徒の興味・関心を引き出すことと基礎学力の定着との関連付けを目指す。
	基本的内容の充実	基本的知識が不足している生徒が多いので、必要に応じて中学校の内容に立ち返り、高校の内容の理解を深めさせる。①	B		
	生徒の興味・関心を引き出す授業の展開	最新の自然科学に関する情報を紹介することにより、生徒の自然科学に対する興味・関心を引き出す。①	C		
保健体育	健康の保持増進と危険回避能力育成	健康や安全の課題に直面したときに、科学的な思考と正しい判断に基づく意志決定や行動選択を行い、適切に実践できるような資質や能力を養う。①	B	B	・集団行動をさまざまな場面で活かせるようにする。 ・自主的に体力向上を図る態度の育成。
	体力の向上	自己の体力を知り、考えながら補強運動を実践することができるようにする。①	B		
	応急手当と心肺蘇生法の習得	RICE等の様々な応急手当の方法を身につける。心肺蘇生法の実習を行い、自ら進んで実行できる態度を養う。(AEDを含む)①	B		
音楽	音楽を愛好する心情の育成	音楽に取り組むために最低限必要な読譜力を向上させ、より積極的に音楽に取り組む態度を育成する。③	B	B	・さまざまな楽器を使っての合奏を取り入れ、より幅広い音の音色を楽しむ。
	感性の向上、創造的な表現と鑑賞の能力の伸長	十分な題材研究を行い、本校生徒の実情に即した題材に取り組ませる。②③	B		
		様々な楽器の奏法や作曲法・発声法を学んだり、音色や楽曲の美しさを感じ取らせることで創造的な表現能力を伸ばす。③	B		
楽曲をただ聞くだけではなく、作曲者の人生や作品の時代的背景を学び、総合的に鑑賞を行い、創造的な鑑賞の能力を伸ばす。③	B				
英語	基本的な語彙の定着	基本的な単語と熟語の書き取り練習を継続的に行い、定着を図る。①③	A	B	・生徒の学習意欲を喚起し、維持・継続させる指導法の研究
	基礎的な文法事項の理解	少人数習熟度別授業の展開により、基礎的な文法事項の一層の理解と定着を目指す。①②③	B		
	外国への興味関心の喚起	サイパンのカグマン高校との国際交流を通じ、外国への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。①	B		
家庭	基礎的・基本的な知識・技術の習得	日常生活に必要な基礎的な知識を習得するとともに、実験・実習を通じ、基礎的・基本的技術を身に付ける。①③	A	B	・基礎基本の定着を図り、技術検定4級合格率の向上を目指し指導する。
	検定の実施による知識・技術の向上	食物技術検定4級の受検を通して、基礎的な知識・技術を習得する。また、フードデザイン選択者については、更なる知識・技術の向上を目指し上級を受検する。①③⑨	B		
情報	情報を活用する実践力の育成	マルチメディアやインターネットを活用した実践力と、情報の収集・発信を通しての問題解決力の向上を図る指導を展開する。①	C	B	・インターネットを活用できる時間を増やし、情報収集能力の育成を図る。
	情報社会における望ましい態度の育成	著作権や情報モラル等の情報倫理を身に付ける指導を展開する。①	B		
商業	検定試験による技術習得	ワープロ実務検定試験、電卓実務検定試験を通じ、技術を習得させることを目指す。①	B	B	・基礎的な知識・技術の定着と社会への
	ビジネスへの関心の喚起	新聞やインターネットの記事を読んだり、視聴覚教材等を視聴することにより、ビジネスへ	B		

総合的な学習の時間	進路意識の高揚と規範意識の育成	の関心を高める。 外部講師による進路ガイダンスや面接指導を積極的に採り入れて、生徒の進路希望実現に向けた方策を計画的に実施する。また、社会規範の基となるマナーを学び、健全に社会生活を送る自覚を育てる。	①	B	関心をより高める。	
	道徳	マナーの修得と自他を大切に作る心の育成	自他の生命や人権を尊重し、思いやりの精神を持たせる。	⑫	B	・年間を通して外部講師を十分に活用し、目標を達成することができた。
			社会の一員としての自覚を持たせ、公共心を育む。	⑩⑫	B	
夢を育み、自己実現に向けて努力する心を養う。外部講師を活用する。	⑥⑫	A				
教務 (含 渉外)	授業時間の確保	授業実施時間数に常に留意するとともに、特編時間割の運用を工夫する。	①②③	B	・新教育課程作成に向けた確な対応。 ・50周年記念事業の着実な準備。 ・分校化を控えての学校PR活動の一層の充実。 ・PTAとの親密な連携の保持。	
	公開授業の実施	学校内外での公開授業を計画的に行うことによって、地域公開および教員研修の機会を増やす。	①⑬⑭⑮	B		
	学年や各部との連携	行事の円滑な運営を目指し、学年・各部・各教科との連携に絶えず気を配る。	①⑩	B		
	PR活動の充実	地域広報誌や校内ニュース、ホームページ等を利用して、本校に関する情報を効果的に発信し、開かれた学校づくりに貢献する。	⑬⑭⑮	A		
	ネットワークの管理	ネットワークセキュリティの強化に努め、パソコンの管理・運用・整備に努める。	①⑬	B		
	PTA活動の活性化	PTA行事への参加率を高めるための環境を整える。役員を中心に緊密な連絡を取り、企画・準備の推進を図る。	⑬⑭	B		
生徒指導 (含 特別活動)	基本的生活習慣の育成	早朝校内外立哨指導や校内巡視等における挨拶の励行運動を行う。	④⑤⑭	B	・生徒を前面に出した活発な活動(生徒会・委員会)。 ・基本的生活習慣のさらなる向上。 ・生徒指導事故の未然防止と迅速かつ適切な対応。	
		H R・生徒面談・集会を通し、時間や規則を守ることにに対する意識を高揚させる。(遅刻・欠席の防止)	④⑤⑥	B		
		頭髪・服装指導の徹底と規則の遵守(喫煙等生徒指導事故の防止)。	④⑥	B		
	交通安全教育の推進	自転車・バイク安全点検の徹底。交通安全講話の実施と公共マナーの指導。校外立哨指導の充実。	⑤⑭	A		
	部活動の充実	部加入率の増加を図る(1年生1学期間の全員部加入の実施)。	⑪	A		
学校行事の円滑な運営	ツールド常北・クラスマッチ・体育祭の円滑な運営と充実に努める。	⑤⑩	A			
進路指導	進路意識の喚起	進路講演会・面接練習・マナー講習等を通して自分の将来について自ら選択し準備する力を育成する。	⑦⑧⑨	B	・3年間を見通したキャリア教育をより一層充実させ早期より進路意識を高める。 ・就職難の社会に対応できる基礎学力の向上や定着が課題。	
	基礎力テストの充実	各種検定試験、就職、進学試験の合格をめざし、基礎的な力を習得する。	⑦⑨	B		
	面接指導の徹底	進路決定に向けて自己表現の仕方、マナーを習得する。	⑦⑧	B		
	インターンシップの充実	2年次において自分の進路選択のためのインターンシップを体験し、自分の適性・興味を知る。	⑧	B		
保健厚生	保健管理・保健指導の徹底	健康診断の事後措置や日々の保健指導を通じ、健康についての自己管理の意識を高める。	④	B	・健康についての自己管理意識の高揚が必要。 ・性教育等における個別保健指導の充実	
	健康で安全な学校環境の整備・美化	外部講師による保健指導を行うことにより、性教育、薬物乱用防止教育の充実を図る。	①	B		
		ゴミの分別等について啓発活動を行い、意識の高揚を図るとともに、環境美化に努める。	⑩	B		
	防災計画の立案と防災教育の推進	施設設備の安全点検を行い、安全管理に努めるとともに、安全についての意識を高める。	⑭	B		
	奨学生募集についての積	防災組織を編成し防災講話・避難訓練等を実施することにより、非常時に適切な行動がとれるようにする。	⑭	B		
奨学生募集についての積	募集について随時担任と連絡を取り合い、多くの生徒が活用できるよう積極的に呼びかけ		B			

	極的な広報活動	る。	⑬		
第3学年	基本的な生活習慣の確立	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。HRや授業、生徒指導部とうまく連携しながら、指導の徹底を図る。	④⑤⑥	C	B ・社会に出てからも通用する基本的な生活習慣を確立させるための指導が必要。 ・就職難を乗り越え進路を決定するために、模擬面接などへの早期の取り組みが必要。
	基礎学力の向上と進路指導の徹底	HRや面談、総合学習の時間等を有効に利用するとともに、外部講師による進路ガイダンスや面接指導を積極的に採り入れて、生徒の進路希望実現に向けた方策を計画的に実施する。少人数授業や課外、毎日の小テスト等で基礎学力向上を図り、進路指導部と連携を深めながら、全員が進路決定できるように指導する。	①⑦⑧⑨	B	
	リーダーシップの育成	最上級生として学校を背負っていることを常に自覚させ、毎日の生活や学校行事、部活動を通じて社会生活でも活用できるリーダーシップを育む。	⑩⑪	B	
第2学年	基本的な生活習慣の確立	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。HRや授業、生徒指導部をうまく連携しながら、指導の徹底を図る。	④⑤⑥	B	B ・基本的な生活習慣の確立のため、日々地道で継続的な指導が必要。 ・進路実現に向けて生徒の学習意欲を喚起し、基礎学力の向上を図るための努力が必要。また、進路意識の喚起が必要。
	基礎学力の向上	朝のSHR時に漢字の練習やテスト等を実施することにより、基礎学力の向上を図る。また、授業を大切にしている指導を行う。	④⑨	B	
	進路意識の喚起	職場見学やキャンパス見学、インターンシップを行うことにより、生徒の進路意識の向上を図る。	⑦⑧	B	
	豊かな心の育成	修学旅行および事前指導を通して、平和の尊さを伝える。マナー講習会を実施し、他人に対する思いやりの心を礼の形で表現する事を学ばせる。LHRの時間を有効利用し、友情や自他を大切にすることを育む。	④⑥⑫	B	
第1学年	基本的な生活習慣の確立	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。	④⑤⑥	B	B ・基本的な生活習慣の確立のため、家庭との連携を図り、継続的に指導する。 ・より良い進路選択に向け、次年度インターンシップの成功、基礎学力の向上等への意識を喚起する。
	基礎学力の向上	基礎力試験を実施し、試験の内容を定着させるため合格点が取れるまで継続した指導を行い、基礎学力の定着・向上を目指し、かつ、学習習慣を身に付けさせる。また、授業を大切にしている指導を行う。	①⑨	B	
	進路意識の喚起	担任による面談、進路ガイダンスや進路情報伝達を適切に実施しながら、また、道徳の授業と連動させながら生徒の進路意識の向上を図る。	⑦⑨	B	
	豊かな心の育成	マナー講習会を実施し、他人に対する思いやりの心を礼の形で表現する事を学ばせる。LHRや道徳の時間を有効利用し、友情や自他を大切にすることを育む。	④⑥⑫	A	

※評価基準： A＝大変良く達成できた。 B＝よく達成できた。 C＝普通である。 D＝やや不十分 E＝不十分